

2022（令和4）年度 卒業時アンケート調査結果の分析（食物栄養学科）

IR 副委員長 伊木亜子

2023年3月14日に卒業した学生を対象としたアンケート調査の結果について、食物栄養学科37名（回収率93%）の内容に関して、以下の通り分析した。

設問2「本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか」について

5点満点のうち、「5点」が40%、「4点」が49%、「3点」が11%、であり、「1～2点」はいなかった。約9割の学生が自分自身の成長を感じていることがわかる。

設問3「成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください」について

自由記述による24件の回答があった。その内の42%が「専門知識や技能の獲得」に関するものであった。次いで「校外実習や教育実習での経験」に関するものが38%、「課題や学習に対する姿勢や時間の使い方」が17%であった。そのほかWスクールや教員からの支援、視点を変えた考え方などが示された。

設問4「在学中に力をいれて取り組んだ項目を選んでください」について

選択式で複数回答を求めた。結果は「短大の勉強」が最も多く、次いで「資格習得」と「アルバイト」が多かった。この結果から学業に力を入れている学生が多いことが伺える。一方で、サークル活動や学内行事、ボランティア活動への取り組みは少なく、昨年と同じ傾向であった。

設問5「本学での授業や活動を通して身に付いたと考える項目を選んでください」について

ディプロマポリシーの7項目とその他を加えた8項目から、選択式で複数回答を求めた。その結果、「知識」、「技能」および「コミュニケーション力」が身に付いたという回答が多く、一方で「表現力」は少数であった。

設問6「本学の教育内容にどの程度満足していますか」および、設問7「本学の評価できる、評価できない、不足している教育内容を記載してください」について

本学の教育内容について10点満点で評価を求め、評価できる点および評価できない点を記述してもらった。平均点は8.2点であり、8点の回答数が多く（43%）、5点以上が100%であり、4点以下はいなかった。

評価できる点では「2年後期に実力試験対策の授業があった」、「グループワークによるコミュニケーション能力の向上」、「授業評価アンケート実施による改善点が見られる」、「教員からの学生に寄り添った支援」が挙げられた。不足している点では「イベントに興味がない」

という意見があった。また「衛生管理」の指導については、満足・不足の両方の意見があり、改善が求められる。

設問8「もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか」およびについて

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が27%、「4点」が54%、「3点」が16%、「2点」が3%であった。

設問9「卒業後の進路は希望に沿ったものですか」について

5点満点で回答を求めた。その結果3点以上が97%であり、特に46%が「5点」を示し、希望に沿った進路であったことが窺える。

設問10「函館短期大学に入学してよかったと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が54%、「4点」が35%であり、「2~3点」が11%であった。約9割の学生が入学してよかったと感じていることがわかる。

全体を通して

アンケート全体を通し、「成長できた」、「入学してよかった」と感じている学生が9割であり、本学の教育内容に対する満足度は向上した（2022年度は7割）。実習や課題を通じて、調理技術やコミュニケーション能力など栄養士に必要な能力を身に付け、自己効力感が高められた結果、9割が「卒業後の進路は希望に沿っている」という回答に結びついたと考察する。

学生生活に力を入れて取り組んだ項目は、Wスクールや資格取得を含む「学業」が最も多く、次いで「アルバイト」であった。一方、「サークル活動」や「学内行事」、「ボランティア活動」への取り組みは少なかった。学生生活がコロナ禍であったため、学内行事や課外活動へ参加する機会が失われたことが一因に考えられる。また、身につけた能力では「表現力」や「思考力」の獲得に関数評価が低く、学生が主体的に取り組む成果を発表する機会を設けることが必要である。

本学を「勧めたい」と8割が回答し、教育内容と学生生活の両方に対し満足度が高いことが窺える。教育内容に関する意見は貴重であり、特に不足している点を改善することにより学生の満足度を向上することができる。

以上より、学生が成長を実感し満足度を高め、卒業生が本学を強く勧めたいと考えられるように、教育内容と就職支援の充実、および授業内外での学習機会の提供によって、学生支援体制を継続していくことが必要である。

以上

2022（令和4）年度 卒業時アンケート調査結果の分析（保育学科）

保育学科 野呂 祐人

2023年3月14日に卒業した学生を対象に実施したアンケート調査の結果について、保育学科57名（回収率98%）の内容を以下の通り分析した。

設問2「本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が49%、「4点」が同じく33%であり、「2点」「1点」はいなかった。昨年度より「5点」が10ほど上昇し、8割以上の学生が自分自身の成長を感じていることがわかる。

設問3「成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください」について

自由記述で回答を求め、例年通り「実習での経験」について記述したものが大半を占めた。今年度の特筆すべき点として、サークルや学友会、クラス長の経験など、授業外での学生主体の活動で「リーダーシップの習得」「人前で話す経験」ができたという意見がいくつかあった。また、昨年度と同様、「コミュニケーションの力」や「グループワークでの経験」に関する回答も多く見られた。「ピアノ」「製作活動」など技術的な面の記述、「授業での実践的な内容が実習で活かされた」といったコメントもいくつかあった。

設問4「在学中に力をいれて取り組んだ項目を選んでください」について

選択式で複数回答を求めた。結果は昨年度と同様に「短大の勉強」が最も多く、次いで「資格習得」が多かった。そして「ボランティア活動」が次いで多く、ここが昨年度との大きな違いである。また、順位としては下位であるが、「クラブ・サークル活動」「学内行事参加」などの項目を選択した学生が少し増えた。

設問5「本学での授業や活動を通して身に付いたと考える項目を選んでください」について

ディプロマポリシーの7項目とその他を加えた8項目から、選択式で複数回答を求めた。その結果、「知識」、次いで「技能」が多く、8割以上の学生が身に付いたと回答し、昨年度よりも大きく上昇した。次いで多かった項目が「コミュニケーション力」であり、7割近くの割合となり昨年度に引き続き上昇傾向にある。昨年度は5割を下回っていた「表現力」が6割に、3割を下回っていた「思考力」5割になり、大幅に上昇した。「判断力」「社会人力」の回答も4割を超えており、全項目の数値が上昇し、講義、実習、演習といった様々な形式の授業を取り入れている効果が大きく見られた。

設問6「本学の教育内容にどの程度満足していますか」および、設問7「本学の評価できる、評価できない、不足している教育内容を記載してください」について

本学の教育内容について10点満点で評価を求め、評価できる点および評価できない点を記述してもらった。9点以上が30%を占める結果となった。7点以上の回答自体は昨年度の86%を若干下回ったが、10点をつけた学生は昨年度とほぼ同様(26%)で高い水準を維持できた。また、4点以下の回答はなかった。

評価できる点では例年多く回答のある「ピアノの指導」の回答が多数あった。今年度の特徴として「実践的な授業が多かった」という評価が多くある一方で「調乳や壁面などの実践的な授業がもっと欲しい」といったコメントも多く見受けられた。既存の授業の質の向上自体はされているが、既存の授業の改善だけではなく授業の枠組みや扱う内容自体を長期的に改善していく必要がある、という捉え方ができるのではないだろうか。評価できない項目として、「教員による対応の違い」「授業による質の差」などに対するコメントが多く見られ、評価されている面とされていない面が両極端に存在する印象を受けた。また、少数のコメントであるが「実習先と就職先の関連性について詳しく教えて欲しかった」「食物栄養学科の学生との交流で違う視点が身につけられた」といった特徴的なコメントもあった。

設問8「もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が49%、「4点」が26%であり、7割以上の学生が勧めると回答し、昨年度に比べて「5点」の割合が増加した。

設問9「卒業後の進路は希望に沿ったものですか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が47%、「4点」が26%であり、8割以上の学生が希望通りの進路だと感じている。「5点」の割合は昨年度に比べ10%ほど上昇した。引き続きS・L教員を中心とした、学生個人の要望を聞き取ることができる就職支援の体制を整えていきたい。

設問10「函館短期大学に入学してよかったと思いますか」について

5点満点で回答を求めた。その結果「5点」が64%、「4点」が26%であり、9割以上の学生が入学してよかったと感じていることが分かり、昨年度よりも大きく増加した。「5点」の割合は12%ほど上昇した。一方で、昨年度はなかった「2点」の回答が2件あった。

全体を通して

アンケート全体を通し、「入学してよかった」と感じている学生が9割を超え、ほとんどの学生は学校生活を満足していると言える。そして昨年度に比べ、どの項目も上昇傾向であり、近年の教員の入れ替わりや体制の変化が大きくあった中、質の高い教育の方法が定着しつつあることが感じられる。

以下、各項目の向上のため、保育学科の「教育内容」についていくつか考察をしたい。設問3や設問5の回答を照合すると、授業や実習を通じて「知識」「技術」、そして昨年度上昇した「コミュニケーション力」を学生に伝達させることについては高い水準で維持できていると分析できる。それに加え、「表現力」「思考力」の項目が大きく増加したことから、授業における発表やプレゼンテーションの経験、自分自身の力で教材や遊びをつくる経験の量と質が向上していると推測する。

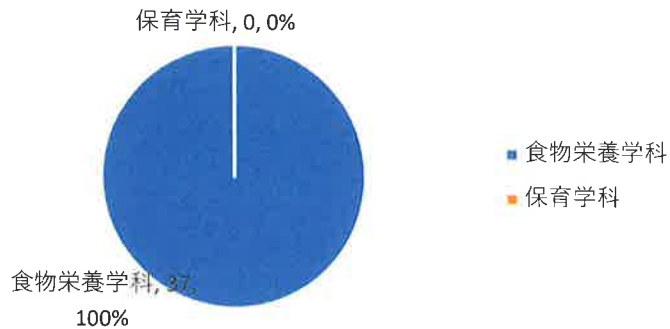
また昨年度少なかった「サークル」「学友会」「ボランティア」の経験に関する記述や評価が少しずつ増えており、コロナ禍の中で学生主体の活動の方法を模索してきた結果が少しずつ現れていると思われる。

自由記述欄では、本学を評価している点、していない点が両方とも多様な視点から書かれた結果となった。全体の評価自体は高いことから、教育の質が向上した点に目を向けて維持をしつつ、差がある部分を見直し少しずつ改善していくことが次年度から行うべき課題であると考えられる。

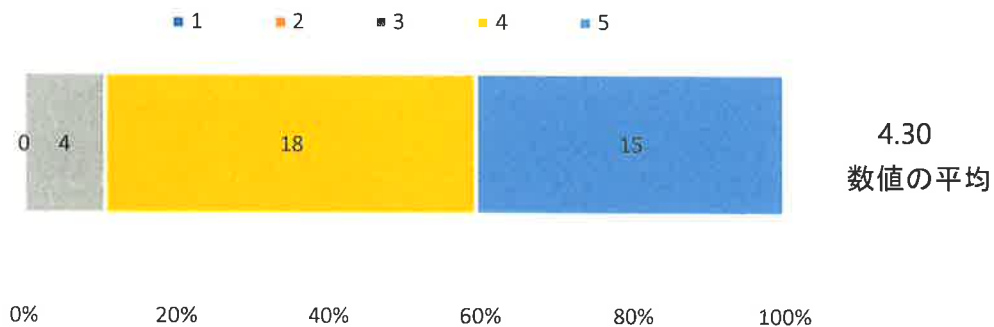
令和4年度 卒業時アンケート調査

37
応答

1 学科を教えてください。



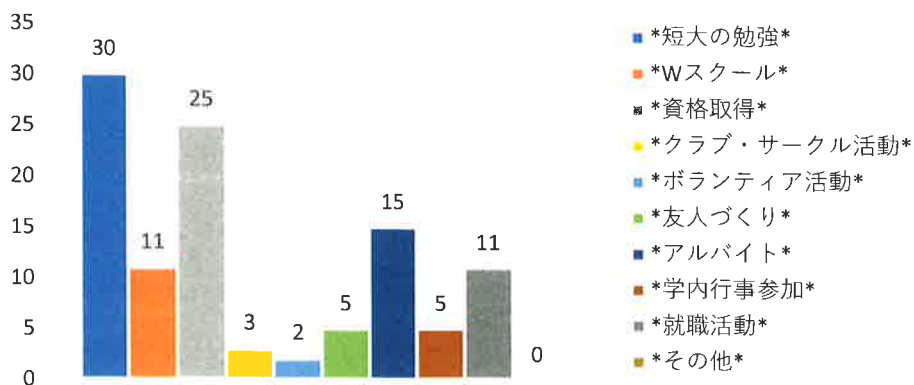
2 本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか。



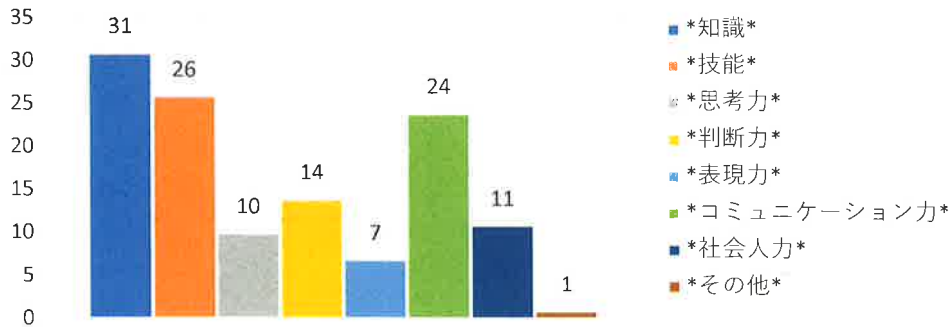
3 成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください。

別記

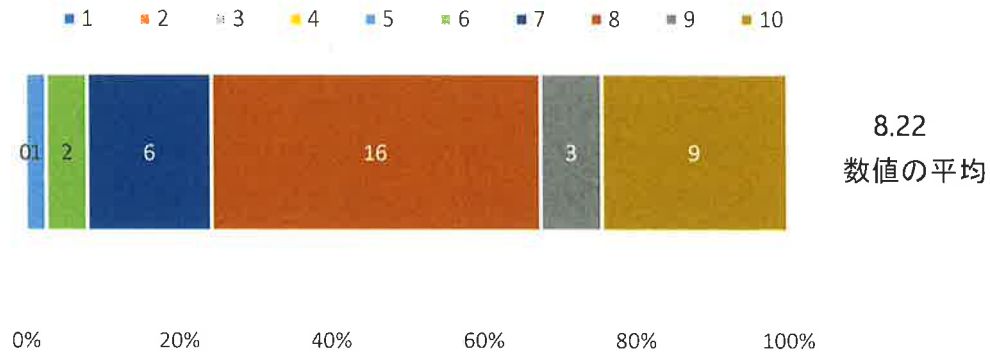
4 在学中に力を入れて取り組んだ項目を選んでください。 (複数回答可)



5 本学での授業や活動を通して身に付いたと考える項目を選んでください。(複数回答可)



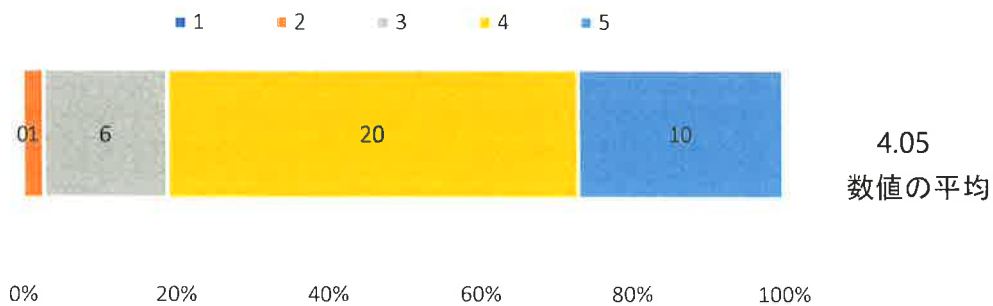
6 本学の教育内容にどの程度満足していますか。



7 本学の評価できる、評価できない、不足している教育内容を記載してください。

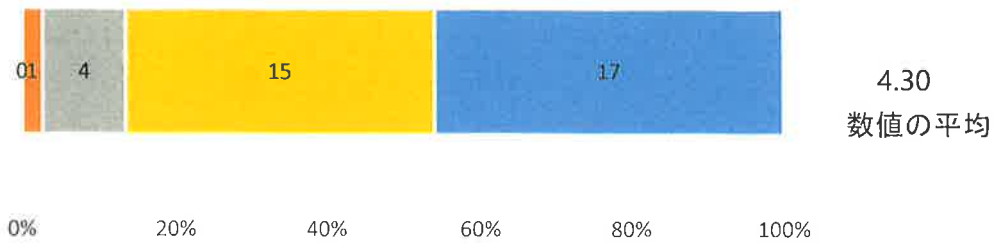
別記

8 もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか。

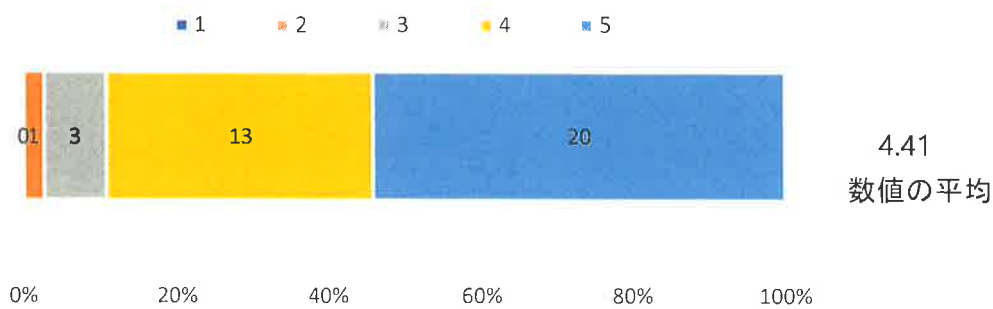


9 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。





10 函館短期大学に入学してよかったですか。



3 成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください。

wスクール制度で栄養士と調理師両方を学ぶことができました。

グループでの話し合いができるようになった

フードスペシャリストや実力試験でいい結果が出た

栄養についての知識を授業や実習を通して身につけることが出来た

栄養について深く学ぶことができた

学内の方や実習先の栄養士の方と関わることで、専門知識だけでなく、社会人としての成長も実感することができた。

教育実習

教育実習

教育実習

教育実習を行なったことで、小学生などに関わり方がわかった。

隙間時間をみつけて課題など出来るようになった

校外実習などでの体験から様々な事を学べたから

今まで自分でご飯を作るなどをしたことがなかったので調理実習なので、その技術を身につけることができました。

時間の使い方

実習で前より早くできるようになったこと

食に関する知識、技術を身につけ、私生活に活かすことができた。

先生方が支えのあったおかげで頑張ろうと思う気持ち

大量調理などの実習

調理の技術面や食に関係する色々な知識を知ることが出来た

調理実習などで調理技術を向上出来た

調理実物を重ねて知識を得た

部活動や実習

勉強しなきゃ卒業出来ないと学んだから

様々な問題を解決するにあたり視点を変えて考えることができるようになった時に思いました。

7 本学の評価できる、評価できない、不足している

教育内容を記載してください。

2年後期に栄養士実力認定試験に向けての授業があったこと。

イベント事があまり興味が湧かなかった

グループでの活動が多くコミュニケーション能力を上げられる。

テスト範囲をもっと早く知りたいと思いました。(2日前に教える教科もあったため。)

もっと衛生面での指導に力を入れるべきだと思った。

衛生についてきちんと学べる

教育実習

教職科目について学生に寄り添った授業やサポートがあったことが良かったです。

授業アンケートを取って次に活かしてるのはいいと思った。

先生達がものすごく優しい。

先生方の教え方が丁寧で、いつも寄り添ってくださったこと。

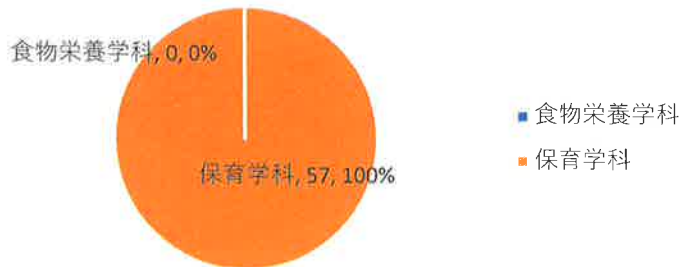
全てが完璧

無いです。

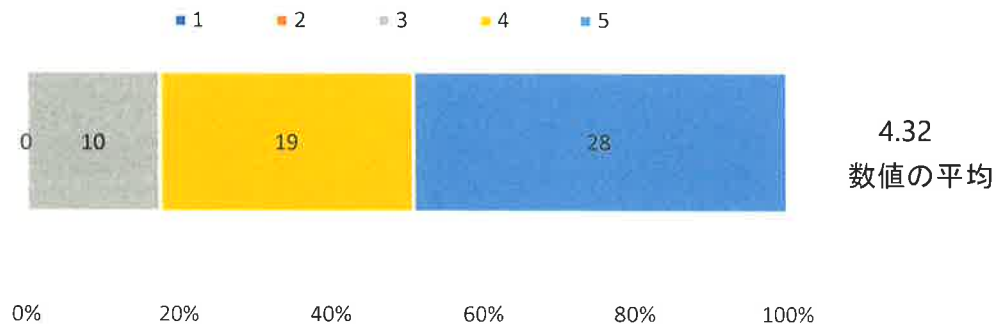
令和4年度 卒業時アンケート調査

57
応答

1 学科を教えてください。



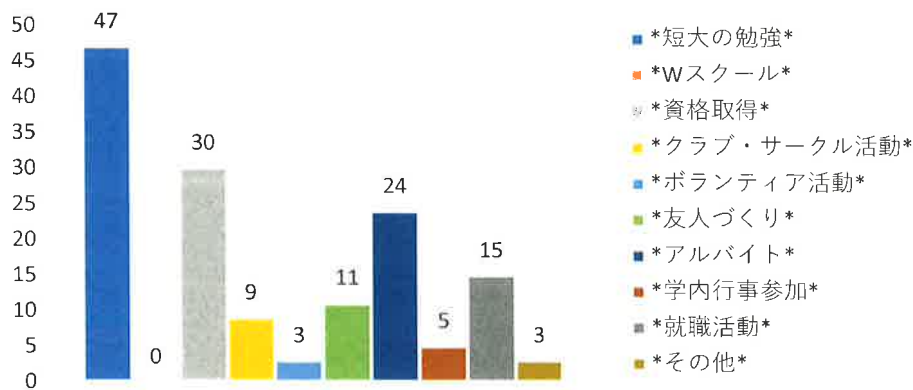
2 本学での授業や活動を通して、自身が成長したと思いますか。



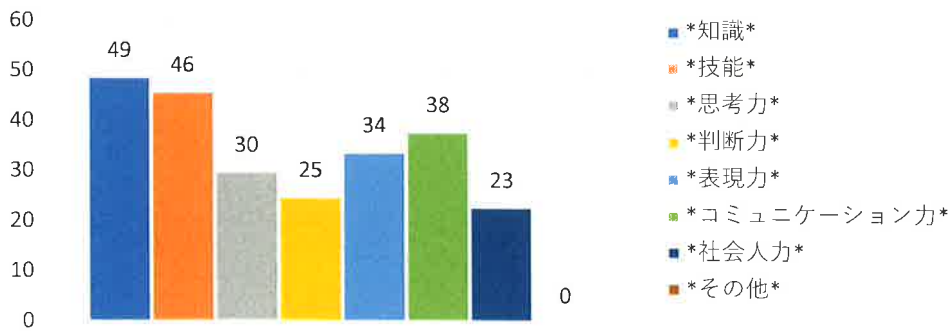
3 成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください。

別記

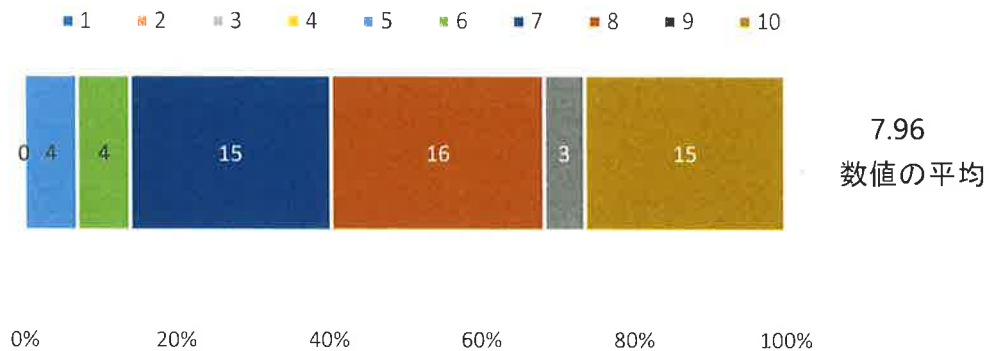
4 在学中に力を入れて取り組んだ項目を選んでください。 (複数回答可)



5 本学での授業や活動を通して身に付いたと考える項目を選んでください。(複数回答可)



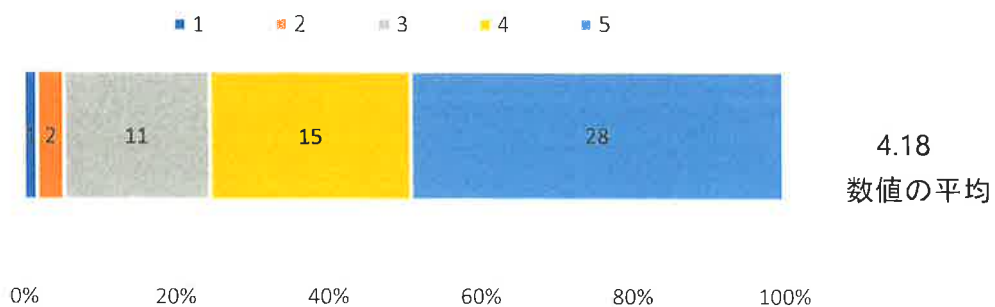
6 本学の教育内容にどの程度満足していますか。



7 本学の評価できる、評価できない、不足している教育内容を記載してください。

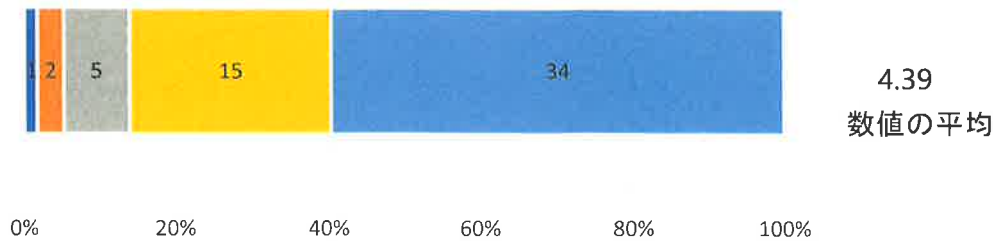
別記

8 もし身近に進学希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか。

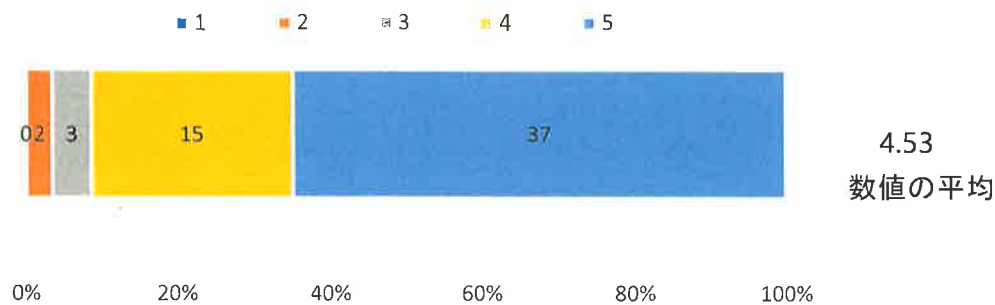


9 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。





10 函館短期大学に入学してよかったですか。



3 成長できた、と思うきっかけや経験を教えてください。

1番はセリカ先生のおかげで楽譜が読めるようになり、ピアノが弾けるようになったこと。二つ目は野呂先生の授業を通じて、自分が製作活動が得意なことに気付いたこと。クラス長やサークル長などリーダーシップを発揮する経験ができた。人前で話したりする経験も多くした。

- グループワークが多かったから
- グループワークを多く経験したから
- サークルがきっかけでコミュニケーション能力が成長した
- ピアノ
- 一人暮らしとバイトと学業の両立
- 学んだことを実習で実践できた時

学んだことを模擬保育や実習を通して実践することができたり、みんなで意見交流や反省会をしたりしたことが一つ一つ成長できた実感がありました。学友会を通してたくさんの先生方や学生と関わることが出来た。

- 講義、実習
- 今までにない知識を得られて、考えるクセがついたこと。
- 座学でのことを実習で発揮できたこと。
- 自己学習を頑張ることができた
- 実習
- 実習
- 実習
- 実習
- 実習、授業でのグループ活動、部活動
- 実習での学び
- 実習での経験が自分の力になった
- 実習での子どもたちや先生方との関わり
- 実習でメンタルが強くなりました。
- 実習で先生方や子ども達と関わった際の受け答え
- 実習と模擬保育
- 実習などの実践を通して、自身の課題や強みを見つけることができました。

実習なので自分ができなかったことができるようになったから
実習へ行き色々な経験が出来たからです。
実習や研修に行った時に、習った事を活かして保育ができたこと。
実習や授業

実習や日々の授業を通して成長できたと思う。

実習を通して保育士として働く者としての自覚等

実習を通して様々な人と関わり、授業では知ることが出来ないことまで学ぶことができたから。

授業での実践が多く、実習先でも経験や知識を生かせる場面があった。

授業や実習等を通して保育現場に出るにあって必要なことを沢山学ぶことが出来たからです。

授業や友達、教職員との関わり

人との関わり

人との関わりを通して、人間関係を築く力を学べた

人前で話すことが前より緊張しなくなった

人前に出ることが苦手でしたが、短期大学の授業や実習で人前に出る機会が多くあり今では人前に出て緊張してもやるべき事や話すべきことをできると感じました。

数多くの知識と技術を授業の中で身につけることが出来ました。

専門の先生の授業

専門的な知識を身につけることができた

同じ夢を持つ友人と成長し合えたこと

入学した頃より子供たちとの遊びや関わり方の引き出しが増えた

保育の知識を身につけられた

保育の勉強することによって子供のことについて深く知ることができたため

保育実習での設定保育・責任保育など

保育実習等をして保育士として働く者の自覚

毎日の授業や実習

模擬保育や実習を通して、現場での保育士の仕事や保護者との関わり方を間近で見ることが出来たこと。

模擬保育や実習を通して、実践が多く就職した時でもすぐに使うことが出来る手遊びや活動を学ぶことが出来たからです。

友達との人間関係

様々な実践的な授業や実習を通して入学時の自分と比べて保育士に近付けたと思ったから。

7 本学の評価できる、評価できない、不足している

教育内容を記載してください。

グループ活動がもう少しあるといいかなと思いました。

ない

なし

ピアノのレッスン

ピアノの授業や実習指導が特に評価できる。

ピアノ室がいっぱいあったところ。プリンターがよく壊れているところ。

ミルクの作り方オムツの変え方などを1回きりではなくもっと実践したかったです
教育の幅が狭いような気がする。

実習が就職に繋がることなどをもっとしっかり教えて欲しかったこと、園のそれぞれの方針や自分のやりたい保育を考えてから実習先を選べたら良かった。とにかく近いところを選べという選択を迫っていたのはちょっと違うかなと思います。選択授業に専門的なもの（特別支援やピアノなど）を二年次にできたらよかったです。

実習以外の実践的な授業がもう少しほしかったです。

実践が少ないなと思った。壁面作ったりする機会がもっと増えたり壁面で使える技をもっと教えてくれる人がいたら嬉しい

実践が多くて良い

実践的な学びが多い先生によって授業の質に差がある

実践的な授業や、実践で使える授業をもっとしたかった

実践的な内容がもう少しあったら良いと思います

実践力

授業内での実践等

授業内で実践的なことを多く取り入れていて、実習に行った時にすごく役に立ちました。また、グループワークも多くあるので自分の考えを他の人と共有したり他の人の考え方を学ぶことが出来てとても勉強になりました。

成績にもっとしっかり向き合えるし実践にも力を入れていて自分のスキルが上がる

先生によって学ぶ質に差があると感じる事が何度かありました。

先生によって対応の差が激しい。

先生方が明るい人が多く、保育向けだなと感じる。個人的にはもっと実践の授業が増えるとより良いのかなと感じました。

全てにおいて良かったと思います

全体的にとっても良かったと思います。

授業も楽しかったです。実践系の授業が増えると良いなと思います。

他学科との交流による他分野への視野を広げることができると、より勉強になったと思います。

特に保育に関わる上で栄養士になる方の視点や、コミュニケーションの取り方を学ぶことはプラスになっていくのではないかと考えます。

特にありません

特にありません。

特にないです

特になし

模擬保育は必ずみんなが先生役をできるといいのにとおもいます！！